

入学時期:	4月生	学科:	教養重点科	コース:	16ヶ月	クラス	B
科目名:	経済・社会・時事					年次:	2年次
担当者:	山口 哲夫	単位:	1単位	授業時間:	15時間		

■授業概要・方法等

経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義，金融の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して学習する。また，現代の日本社会が抱える諸問題について，諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けることができるように学習する。

■学習・教育目標及び到達目標

学生が，この授業を履修することによって

- (1)市場メカニズムについて説明する
- (2)日本経済の景気変動について説明する
- (3)現代社会における諸問題について説明する ことができるようになる。

ひいては，高卒程度の公務員試験に出題される経済・社会・時事の平均的な問題に対応できる知識習得に加え，高卒程度の経済の難易度の高い問題，大卒程度の警察官，消防官の採用試験で出題される経済の平均的な問題に対応できる知識習得ができるようになる。

■成績評価方法および基準

- ・定期試験 70%
- ・授業への取り組み 30%

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～70	69～60	59～0

■教科書

- 『初級経済テキスト』(本校独自)
- 『初級社会・時事テキスト』(本校独自)
- 『初級経済過去問』(本校独自)
- 『初級社会・時事過去問』(本校独自)
- 『初級経済過去問解答』(本校独自)
- 『初級社会・時事過去問解答』(本校独自)

■授業計画の内容

時間割上の科目名:【経・社】

時 数		内 容	
1	～ 2	経済	第 1 編 経済と企業
3	～ 4		第 2 編 現代の市場
5	～ 6		第 3 編 国民所得と景気循環
7	～ 8		第 4 編 金融と金融政策
9	～ 10		第 5 編 財政と財政政策
11	～		第 6 編 貿易と国際収支
12	～		第 7 編 外国為替
13	～ 14		第 8 編 日本経済の発展
15	～		第 9 編 国際経済体制

■履修にあたっての注意事項

授業中に演習問題等を解く時間はないため、授業で進んだ範囲の過去問は各自で進めておくこと。

■その他

特になし。